
タイトル	献辞・大場四千男教授の略歴・研究業績
著者	
引用	北海学園大学経営論集, 11(3)
発行日	2014-03-25



大場四千男教授

献 辞

経営学会長 佐藤 淳
経営学部長
経営学研究科長 石井 耕

大場四千男先生におかれましては、平成26年3月31日をもってご退職されることとなりました。先生のご退職にあたり、経営学部・経営学研究科ならびに経営学会は、これまでに先生から賜ったご指導とご厚誼とに深甚なる謝意を表すため、退職記念論文集の刊行を企画いたしました。ここに謹んで本書を先生に献呈いたします。

大場先生は、昭和45年4月に本学へ着任以来、43年間にわたって本学の教育と研究に多大なる貢献を遺されました。

特に、大場先生は、経営史の分野で膨大な業績を遺されてきました。11冊の著書と100編以上の論文を発表しておられます。一貫して歴史家としてのアイデンティティによるものです。

先生の研究者としての最初の研究分野は、イギリス・アメリカの経済史・経営史です。その継続した研究が、近時の「十六世紀イギリス旧救貧法の成立(1)－(5)」(「北海学園大学学園論集」掲載、2012－2013年)や「モルガン家とアメリカ資本主義の経営史(1)－(2)」(「北海学園大学学園論集」掲載、2013年)に引き継がれています。

次いで、先生の研究分野は、日本経営史に転じられます。日本経営史の中でも、大別すると、戦時期経済と企業経営、石炭鉱業史、初期北海道の経済の三分野が、先生の主たる関心分野でありました。

第一の戦時期経済と企業経営の分野においては、『日本自動車産業の成立と自動車製造事業法の研究』(2001年)、『太平洋戦争期日本自動車産業史研究』(2002年)、『戦時期日本資本主義の戦略と組織』(2003年)、『日本の西洋化と太平洋戦争への道』(2003年)の四冊の著書を上梓しておられます。特に、『日本自動車産業の成立と自動車製造事業法の研究』(2001年)は、法政大学に提出された博士論文であり、先生は、博士(経済学)を授与されておられます。

第二の石炭鉱業史は、近時先生が最も注力された研究分野であり、「明治期における三井物産と北炭一官営幌内炭鉱と三池鉱山を中心として」(「北海学園大学開発論集」掲載、1984年)を嚆矢とする一連の研究です。経営史の分野では、最近再び石炭鉱業の研究が見直されてきており、先生の研究は、その先端となる研究であり、他の研究者の参考文献にも挙げられています。

特に、北海道の開発において重要な位置づけを占める北海道炭鉱汽船(北炭)に関する研究では、膨大な論文を発表しておられます。「佐々木仁三郎「北炭職員組合の運動と組織力」(上・中・下の一・下の二・資料編)」(「北海学園大学経営論集」掲載、2008年－2010年)「佐々木仁三郎「北海道炭鉱汽船株式会社職員組合労働運動史」(一)－(六)」(「北海学園大学学園論集」掲載、2009年－2010年)「小野博旨「北海道炭鉱汽船株式会社夕張鉱業所の技術構造」(1)(2)」(「北海学園大学経営論集」掲載、2010年)などの資料紹介であり、それらが、「北海道炭鉱汽船(株)百年の経営史と経営者像(1)－(3)」(「北海学園大学学園論集」掲載、2012－2013年)へと連なっています。

また、これらの石炭鉱業史研究の延長上に、エネルギー分野の研究を発展させておられます。「エネルギー革命の経営史研究」（「北海学園大学学園論集」掲載，2009年）、「水力時代 電力革命の経営史研究」（「北海学園大学経営論集」掲載，2009年）、「日本原子力経営史の研究(1)」（「北海学園大学学園論集」掲載，2012年）などです。

第三の初期北海道の経済に関する研究分野は、主に幕末・明治期についての研究です。北炭に関する研究もその一環ともとらえることができ、他にも当時の主力産業である漁業に関して、「高倉新一郎編「蝦夷地各場所請負人運上金調」(1)–(2)」（「北海学園大学学園論集」掲載，2010年）「幕末期ヨイチ場所における林長左衛門の場所請負経営とアイヌ民族の勤労革命」（「北海学園大学経営論集」掲載，2010年）などの論文が、それにあたります。

他にも、いくつかの分野の研究がありますが、大場先生の膨大な研究を俯瞰的にまとめますと、大凡このような業績とすることができます。これらの分野における後進の研究者に、大いに参考となる研究群となっております。

なお、本書の刊行にあたっては、学内外のゆかりの方々にご寄稿をお願いし、ご快諾を賜って玉稿を取載することができました。また、本書の企画と編集については、春日賢教授をはじめ、論集委員の増地あゆみ教授、佐藤芳彰教授ほか多くの方々にご尽力いただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

平成26年3月末日

大場四千男教授 略歴・研究業績

大場四千男（昭和18年7月23日生）

学 歴

- 1966（昭和41）年3月 法政大学経済学部経済学科卒業（経済学士）
1969（昭和44）年3月 同大学院社会科学研究科経済学専攻修士課程修了（経済学修士）
1973（昭和48）年3月 同博士課程単位取得満期退学
2002（平成14）年3月 博士（経済学）（法政大学）

職 歴

- 昭和45年4月～昭和49年3月 北海学園大学経済学部講師
昭和49年4月～昭和56年3月 同助教授
昭和56年4月～平成15年3月 同教授（この間、平成12年3月まで同大学院経済学研究科教授）
平成12年4月～平成26年3月 同大学院経営学研究科教授（経営史特殊講義および同演習）
平成15年4月～平成26年3月 同大学経営学部教授（経営史および演習）
平成26年3月 同停年退職

学会活動等

社会経済史学会会員，経営史学会会員，土地制度史学会会員（政治経済学・経済史学会）

主要研究業績

I 著書（以下に2001年以降の代表的著書を示し，その他は省略する）

1 単著

- (1) 『日本自動車産業の成立と自動車製造事業法の研究』 信山社 2001年4月
(2) 『日本自動車産業史研究』 北樹出版 2002年10月
(3) 『日本の西洋化と太平洋戦争への道』 北樹出版 2003年10月
(4) 『戦時期日本資本主義の戦略と組織』 北樹出版 2003年11月
(5) 『北海道アイヌの人類経営学序説』 北海道出版企画センター 2009年4月
(6) 『経営史概説』 北海道出版企画センター 2009年10月

2 共著

- (1) 『現代日本の系譜と原像』 北海道出版企画センター 2011年11月
(2) 『資本主義の富と知の経営史』 榊原舎 2013年11月

II 学術論文（以下に2003年以降の代表的論文等を示し，その他は省略する）

1 単著

- (1) 「三大紡績会社の科学的管理法の導入と技術革新」 北海学園大学『経営論集』第1巻第1号，2003年6月

- (2) 「インド植民地資本主義の発展構造とカースト制度」 北海学園大学『経営論集』第1巻第2号, 2003年9月
- (3) 「水力時代電力革命の経営史研究」 北海学園大学『経営論集』第7巻第2号, 2009年9月
- (4) 「エネルギー革命の経営史研究」 北海学園大学『学園論集』第141号, 2009年9月
- (5) 「人類経営学における日本人と勤労革命」 北海学園大学『経営論集』第8巻第1号, 2010年6月
- (6) 「幕末期ヨイチ場所における林長左衛門の場所請負経営とアイヌ民族の勤労革命」 北海学園大学『経営論集』第8巻第2号, 2010年9月
- (7) 「東南アジアの人間像と日本経営史の原像」(一) 北海学園大学『学園論集』第148号, 2011年6月
- (8) 「東南アジアの人間像と日本経営史の原像」(二) 北海学園大学『学園論集』第149号, 2011年9月
- (9) 「東南アジアの人間像と日本経営史の原像」(三) 北海学園大学『学園論集』第150号, 2011年12月
- (10) 「東南アジアの人間像と日本経営史の原像」(四) 北海学園大学『学園論集』第151号, 2012年3月
- (11) 「十六世紀イギリス旧救貧法の成立」(一) 北海学園大学『学園論集』第152号, 2012年6月
- (12) 「日本原子力経営史の研究」(一) 北海学園大学『学園論集』第152号, 2012年6月
- (13) 「十六世紀イギリス旧救貧法の成立」(二) 北海学園大学『学園論集』第153号, 2012年9月
- (14) 「北海道炭鉱汽船(株)百年の経営史と経営者像」(一) 北海学園大学『学園論集』第153号, 2012年9月
- (15) 「十六世紀イギリス旧救貧法の成立」(三) 北海学園大学『学園論集』第154号, 2012年12月
- (16) 「北海道炭鉱汽船(株)百年の経営史と経営者像」(二) 北海学園大学『学園論集』第154号, 2012年12月
- (17) 「十六世紀イギリス旧救貧法の成立」(四) 北海学園大学『学園論集』第155号, 2013年3月
- (18) 「北海道炭鉱汽船(株)百年の経営史と経営者像」(三) 北海学園大学『学園論集』第155号, 2013年3月
- (19) 「十六世紀イギリス旧救貧法の成立」(五) 北海学園大学『学園論集』第156号, 2013年6月
- (20) 「モルガン家とアメリカ資本主義の経営史」(一) 北海学園大学『学園論集』第156号, 2013年6月
- (21) 「モルガン家とアメリカ資本主義の経営史」(二) 北海学園大学『学園論集』第156号, 2013年9月
- (22) 「現代資本主義の比較経営史研究」(一) 北海学園大学『学園論集』第157号, 2013年12月
- (23) 「講義経営史」 北海学園大学『経営論集』第11巻3号, 2014年3月

2 共著

- (1) 「佐々木仁三郎「北炭職員組合の運動と組織力」(上) 北海学園大学『経営論集』第6巻第3号, 2008年12月
- (2) 「佐々木仁三郎「北炭職員組合の運動と組織力」(中) 北海学園大学『経営論集』第6巻第4号, 2009年3月
- (3) 「北海道石炭鉱業労働運動史料監修」(一) 北海学園大学『学園論集』第139号, 2009年3月
- (4) 「佐々木仁三郎「北炭職員組合の運動と組織力」(下の一) 北海学園大学『経営論集』第7巻第1号, 2009年6月
- (4) 「北海道石炭鉱業労働運動史料監修」(二) 北海学園大学『学園論集』第140号, 2009年6月
- (5) 「佐々木仁三郎「北炭職員組合の運動と組織力」(下の二) 北海学園大学『経営論集』第7巻第3号, 2009年6月

号, 2009年12月

- (6) 「北海道石炭鉱業労働運動史料監修」(三) 北海学園大学『学園論集』第142号, 2009年12月
- (7) 「佐々木仁三郎「北炭職員組合の運動と組織力」」(下の三) 北海学園大学『経営論集』第7巻第4号, 2010年3月
- (8) 「北海道石炭鉱業労働運動史料監修」(四) 北海学園大学『学園論集』第143号, 2010年3月
- (9) 「北海道石炭鉱業労働運動史料監修」(五) 北海学園大学『学園論集』第144号, 2010年6月
- (10) 「北海道アイヌ民族場所請負制資料監修」(I) 北海学園大学『学園論集』第144号, 2010年6月
- (11) 「小野博旨「北海道炭鉱汽船(株)夕張鉱業所の技術構造」」(一) 北海学園大学『経営論集』第8巻第1号, 2010年6月
- (12) 「北海道アイヌ民族場所請負制資料監修」(II) 北海学園大学『学園論集』第145号, 2010年9月
- (13) 「北海道石炭鉱業労働運動史料監修」(六) 北海学園大学『学園論集』第145号, 2010年9月
- (14) 「小野博旨「北海道炭鉱汽船(株)夕張鉱業所の技術構造」」(二) 北海学園大学『経営論集』第8巻第2号, 2010年9月
- (15) 「北海道アイヌ民族場所請負制資料監修」(III) 北海学園大学『学園論集』第146号, 2010年12月
- (16) 「北海道炭鉱汽船(株)百年史編纂」(一) 北海学園大学『開発論集』第87号, 2011年3月
- (17) 「北海道炭鉱汽船(株)百年史編纂」(二) 北海学園大学『開発論集』第87号, 2011年3月
- (18) 「北海道炭鉱汽船(株)百年史編纂」(三) 北海学園大学『開発論集』第88号, 2011年9月
- (19) 「北海道炭鉱汽船(株)百年史編纂」(四) 北海学園大学『開発論集』第88号, 2011年9月
- (20) 「北海道アイヌ民族場所請負制資料監修」(IV) 北海学園大学『学園論集』第149号, 2011年9月
- (21) 「戦前期石炭鉱業の資本蓄積と技術革新」(一) 北海学園大学『学園論集』第150号, 2011年12月
- (22) 「北海道炭鉱汽船(株)百年史編纂」(五) 北海学園大学『開発論集』第89号, 2012年3月
- (23) 「北海道炭鉱汽船(株)百年史編纂」(六) 北海学園大学『開発論集』第90号, 2012年9月
- (24) 「北海道炭鉱汽船(株)百年史編纂」(七) 北海学園大学『開発論集』第90号, 2012年9月
- (25) 「北海道炭鉱汽船(株)百年史編纂」(八) 北海学園大学『開発論集』第91号, 2013年3月
- (26) 「戦前期石炭鉱業の資本蓄積と技術革新」(二) 北海学園大学『学園論集』第158号, 2014年3月